

KITAURA

Culture + Innovation

大いなる夢咲かせます。

「変化の未来」に挑戦します。

「大地の息吹」に価値を創造します。

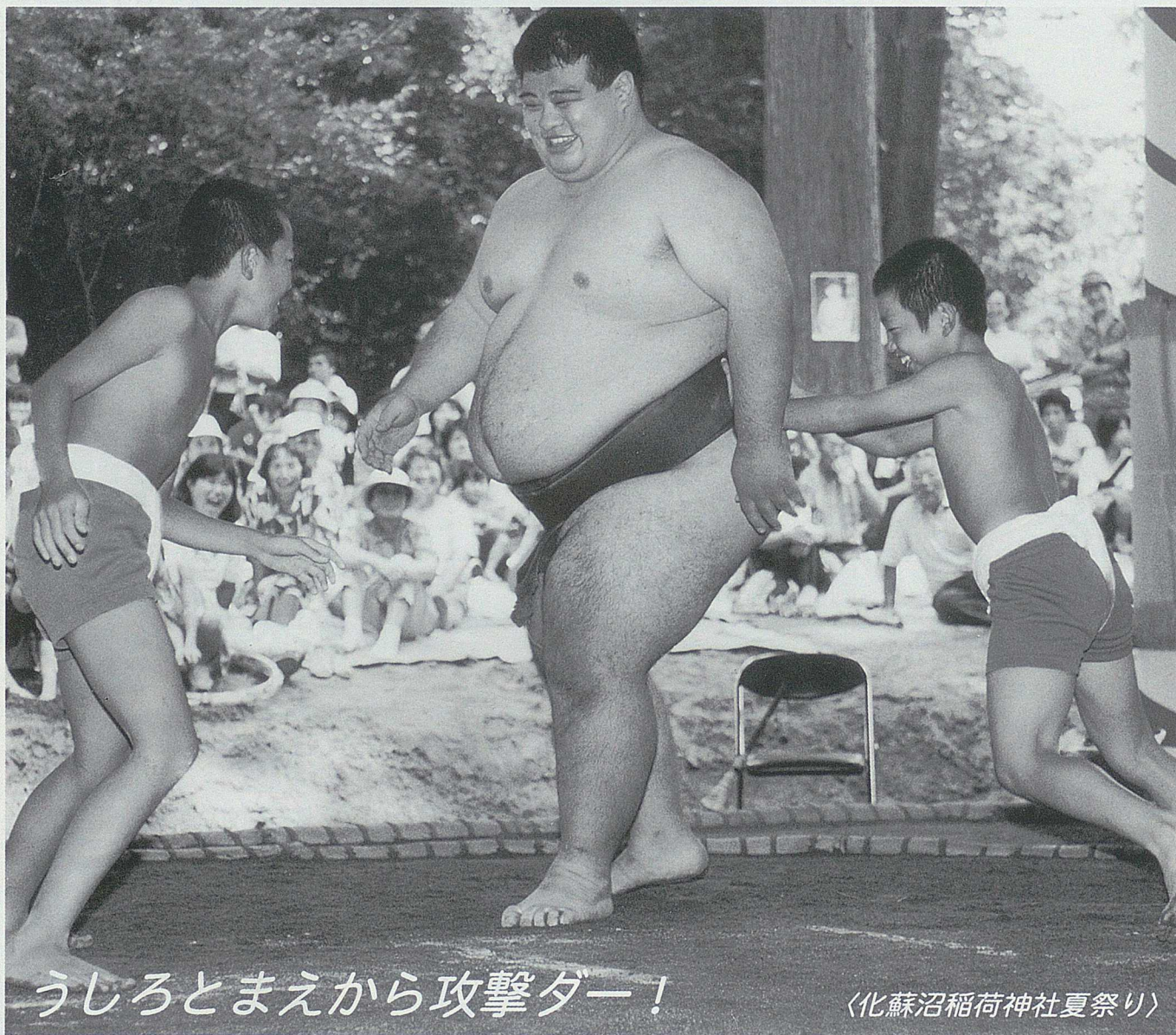
「明日の世代」にふれあいを手わたします。

平成14年 9 月27日(金)

発行No.425

広報きたうら

茨城県行方郡北浦町



青梗菜の共販を目指して p2

給食
制度改正
トピックス
ALT紹介
スポーツ

町史編さんだより⑩

はつらつ保健だより・新着図書
みんなの広場

町の野菜を使った献立 p6

国民健康保険・老人保健制度の一部改正 p8

化蘇沼稻荷神社夏祭り/中学校改築工事起工式/巨大キ/コ出現!ほか p11

Kitaura has a new ALT~ルイーズ・トンズソンさん p13

行方地方子供会対抗球技大会/テニス教室/バドミントン教室 p12

北浦の水運と海夫注文 p15

子育てサークル活動に参加しませんか p16

いきいきマイライフ/きたうら文芸/ママと2shot/新鮮人 p17

青梗菜の共販を目指して

北浦町青梗菜産地育成協議会を結成

協議会結成までの経過

町の青果物販売環境について、鉦頭会議流通委員会（現在は販売

対策委員会）では、調査研究をしてきました。その調査した内容を
これからの産地育成に役立てるために「流通提言」として平成十二
年三月にまとめ、各出荷団体等へ提言しました。

また、平成十二年度からは、提言書の青梗菜の販売戦略を受け、
どうしたら市場法改正や現在の流通ニーズに即した出荷組織体制を
構築できるかに焦点を絞り、「北浦町の青梗菜の現状と課題・対策」
をまとめ各出荷団体や青梗菜生産者へ提案してきました。

その結果を踏まえて、町青果物出荷団体等連絡会議に諮り、今年
六月十三日に町青梗菜産地育成協議会が結成され、統一に向けて協
議することとなりました。協議会は、各出荷組織、青梗菜生産者、
鉦頭会議、青梗菜研究会等の代表者で構成されています。

北浦町は、青果物産地として長い間、数々の歴史を刻
み歩んできました。その中で最近、青梗菜の出荷量は年
間一五〇万ケースにのぼり、静岡県をぬぎ、生産量日本
一の産地になりました。

しかし、販売面では、静岡県等の他産地に大きく差を
つけられています。その原因としては、それぞれの出荷
組織との連絡調整が取れないため、適正分荷や計画販売
が難しい状況や、出荷規格が統一されていないなど産地
評価が低い事が挙げられます。そこで、それらを改善し
ながら今よりも優位に青梗菜を販売しようと各出荷組織
の代表者による、北浦町青梗菜産地育成協議会（会長原
延征さん）が結成されました。

市場流通の変化にともない、安値安定が続く今日、北
浦町の青梗菜の存続をかけておおいに期待するものです。

流通提言とは

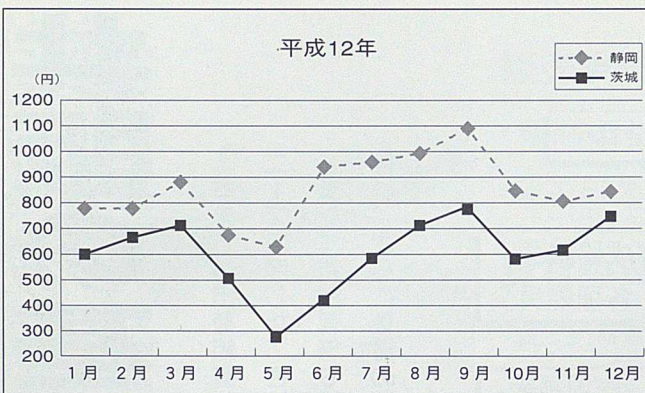
町の中心的な作物、青梗菜にターゲットを絞り調
査をしました。当町の青梗菜は他産地と販売価格差が
大きく、なぜ、有利販売されていないのか調査をし、
問題を整理しました。その一つとしては、出荷組織が
複数に存在し、市場に対する適正分荷や計画的販売が
難しい環境になっていることや、市場に対する分荷調
整も規格がそろっていないため、出来ない事などが挙
げられました。また、それらを踏まえて販売戦略を提
言しました。販売戦略の主な内容は次のとおりです。

- 現在の流通事情から見た当産地の欠陥と問題点を明確にする。
- 問題点を解決するための具体的手法を組合に徹底させる。
- 組合間で販売競争を調整する。
- 規格を統一する。
- 出荷意匠を統一する。



なぜ、共販なのか

- 生産量日本一であるのに、消費者側からはそうは見えていない。…出荷規格・意匠の統一が必要。
- 市場間の過不足調整を行う。…適正分荷や計画的な出荷。
- 窓口を一本化する事で価格差の発生を最小限にする。…日々の販売や総合的に対応して産地主導型を強める。
- 数量を増やすことによって安定出荷、計画出荷をすすめる。…大量販売の対応や顧客確保。
- 市場法の追加改正や市場（卸会社・仲卸）の統廃合で市場が巨大化し、市場数も減る状況下での販売条件を良くする。…手数料の自由化や市場側の効率の良い取引重視に対応する。



茨城県と静岡産の平成12年の青梗菜市況（ケース単価）を比較したグラフです。恒常的に価格差が開いており、茨城県と静岡産の価格差は平均で233円あった。（農水省統計情報調査）

現状と課題・対策

流通提言で調査した内容をより掘り下げて調査し、市場法改正や現在の流通ニーズに即した体制をどう構築したら良に焦点を絞りました。具体的には、出荷組織4組織（JAなめがた・①出荷組合・②出荷組合・③出荷組合）の日々の販売で、競争している市場を対象に次の視点で調査しました。

- 組織間で日々の販売価格差はどれぐらいになっているのか、その格差が産地の販売高にどれぐらい影響しているのか。
- なぜ、価格差が生まれるのか、現在の市場・消費ニーズから見た販売組織の長所・短所は？安定出荷は出来ているのか？
- 価格差が発生するのは、市況の安い出荷量の多い時なのか？少ない時なのか？

このような産地の課題を明確にし、他産地に対抗できる体制をつくるためには、町全体の組織力アップが重要であり、共販体制を進めることを提案しました。

北浦町青梗菜産地育成協議会

- 構成委員**
- ① 町出荷団体等連絡会議会長
 - ② 北浦みづば連合会会長
 - ③ 各出荷組織代表者
 - ④ 各出荷組織青梗菜生産代表者
 - ⑤ 鉦頭会議会長
 - ⑥ 鉦頭会議販売対策委員会代表者
 - ⑦ 青梗菜研究会会長
 - ⑧ 北浦町

役員
会長
副会長
幹事

役員会

目的達成のため事業に関する協議をする。
円滑に運営できるように各委員会に対し助言等支援する。

協議

役員会

販売委員会

資材委員会

栽培委員会

事業

1. 青梗菜の生産流通消費等に
係る情報交換
2. 栽培技術統一に関する
こと
3. 出荷販売体制確立に
関すること
4. 品質及び出荷規格統一に
関すること
5. 銘柄産地育成への取
組み
6. その他目的達成に
関すること



委員会

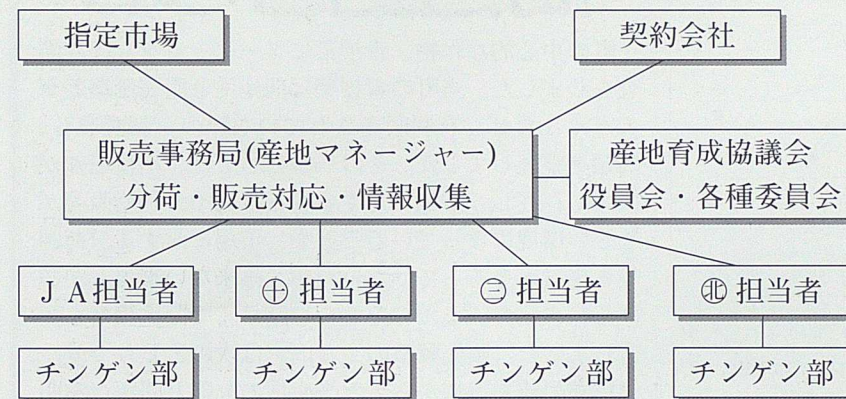
委員会は協議会において必要と認めた場合、提起された課題ごとに設置し、専門的に検討し課題解決を図る。

共販の基本的考えと方向性

今までの出荷組織体制を生かした、販売システムで連携を強化し、適正分荷や流通ニーズに即した、きめ細かな販売対応のできる出荷体制を目指します。

また、特別栽培や契約的販売などの共販と通常の委託販売をわけた特色ある販売を行い、さらに数量の確保によって、安定出荷による安定販売により顧客確保をはかり、

販売体制図



共販の方向性

◆特徴ある販売の確立

- ・安全安心栽培や計画的販売などは、消費・流通のニーズを重視して対応します。
- ・消費・流通のニーズにそった視点で安全安心栽培方法の整理をします。
- ・周年供給などの計画的納入をします。

◆委託販売

- ・情報販売などの利用により予約相対販売を推進します。
- ・階級別の販売対策を推進します。
- ・市況対応や情報収集により素早い対応をし、他産地との販売格差を少なくします。

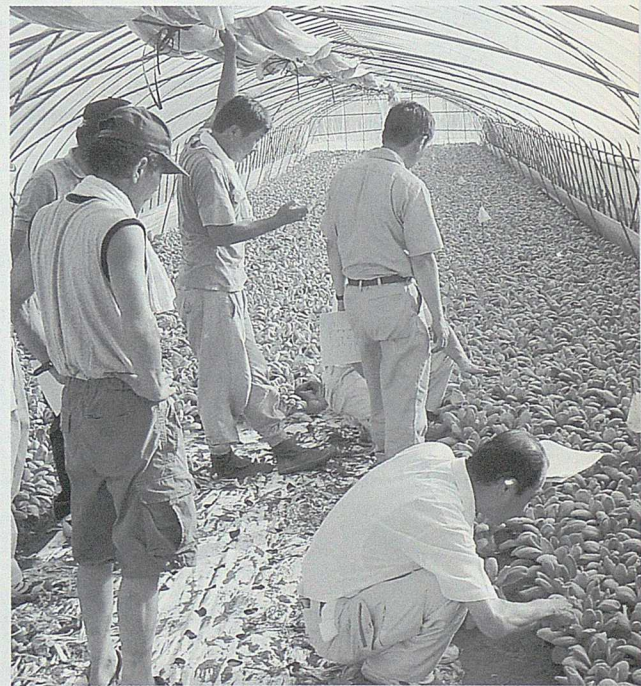
◆新しいブランドの確立

- ・出荷意匠・ダンボール資材等のデザイン規格を統一し新たなブランド名を確立します。
- ・消費・産地ニーズを考慮して新たな出荷規格を確立します。



ポイント 市場法の改正点は？

- 市場法の改正の背景には、①産地が大型化している。
- ②大型量販店等の販売が主力になり発言力が高まっている。
- ③場外流通が拡大している。
- ④卸会社・仲卸の経営が悪化していることが挙げられますが、改正の方向づけとしては市場関係者の経営体質の強化と取引方法の改善、卸売市場の再編の円滑化であります。
- 改正の内容は、次の三点了。
- 一、**予約相対取引の容認**
予約相対取引とは、セリを行わず、約束の中で数量、価格を決め取引することであり、競争（セリ）による販売が減り、大型店（量販店）等の取引が九割を占め、予約相対取引が主流になります。
 - 二、**市場外流通の容認**
市場内に品物を搬入せずにスーパーに直接配送できるようにします。現実に休市日の特別出荷や特別注文出荷などの取引がされています。
 - 三、**買付取引の容認**
買付取引とは、卸会社が産地と価格を決め、買い取りをして価格をつけて販売できることです。今までの委託販売と違って、手数料（野菜八・五パーセント）の決まりが無くなり、取引内容によっては出荷奨励金もなくなります。



↑ 青梗菜研究会による現地検討会の様子

三委員会を設けて具体的に検討

共販を進めるうえで、問題となる出荷規格や分荷方法、ダンボール意匠、栽培方法などを整理し、具体的に協議する場として委員会を設けました。販売に関するところについては販売委員会、出荷資材に関するところについては資材委員会、栽培に関するところについては栽培委員会、組織運営に関するところは協議会・役員会等で担うこととします。

販売委員会では、

- ・規格や指定市場の調査、出荷方法等を検討します。

資材委員会では、

- ・統一出荷資材の具体案を作成します。

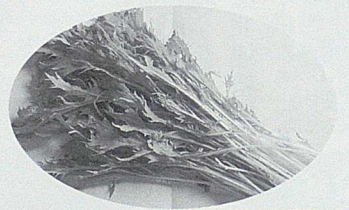
栽培委員会では、

- ・特別栽培などの内容調査、栽培講習会等を実施します。



↑ 栽培委員会による会議の様子

出荷組織を越えた販売の実践（銚頭会議販売対策委員会）



みず菜

銚頭会議販売対策委員が中心となり、これからの流通を見据えた予約相対販売と出荷組織を越えた販売により、新規作物の産地化を図りました。何度も産地視察や学習会を重ね、昨年10月より販売を始め、今では栽培者も54名に増え、周年出荷体制が確立され、関東一の産地となりました。

ベビーリーフサラダ



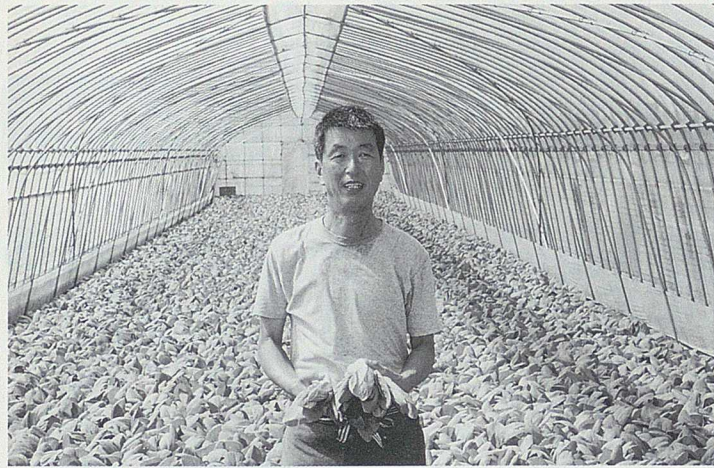
銚頭会議販売対策委員会が取り組み、SB食品との完全予約相対販売により、新規作物として産地化を図りました。8種類のハーブを中心とした野菜を若取りし、混ぜて袋詰めをして出荷します。11名の栽培者で今年5月から販売を始め、日量約300ケースのペースで周年出荷を目指しています。

北浦町青梗菜産地育成協議会委員

会長 原 延征 連	幹事 原 瑞穂 ㊦	方波見亘快 JA
幹事 片岡武次 ㊦	浅野洋治 ㊦	高正 利夫 JA
稲田満雄 ㊦	男庭源善 ㊦	有馬 芳郎 JA
金沢保男 ㊦	副会長 五十野洋 ㊦	幹事 井川 英雄 青
副会長 根本正義 ㊦	男庭正和 ㊦	幹事 小林 久 銚
石川誠一 ㊦	堀 勝男 ㊦	幹事 本澤 政雄 銚
吉田勝男 ㊦	瀬尾宗平 JA	本澤 嘉宇 銚
幹事 亀田信也 ㊦	幹事 横田正男 JA	斎藤 守 銚
加納豊次 ㊦	棚谷保男 JA	方波見忠夫 銚
前田 保 ㊦	河野豊一 JA	石間 操 産
副会長 前田 治 ㊦	関根一男 JA	土子英三郎 農
前田文雄 ㊦	副会長 原 文夫 JA	
掛田和則 ㊦	横瀬吉正 JA	
販売委員会委員長 原 文夫 JA	連・町出荷団体連絡会会長 ㊦→㊦出荷組合 ㊦→㊦出荷組合 ㊦→㊦出荷組合 JA→JA なめがた 青→青梗菜研究会 銚→銚頭会議 産→町産業課 農→農業振興センター	
資材委員会委員長 五十野洋 ㊦		
栽培委員会委員長 前田 治 ㊦		



北浦産野菜を学校給食へ



町内の
子供たち

幼稚園児から
中学生まで！



給食をつく
る人たち

栄養士さん・給食
センターの皆さん



生産者

みず菜・清宮正彦さん
青梗菜・齋藤 守さん

北浦産の野菜が
給食になるまで

栄養士さん
から一言。



給食センター栄養士の磯山千賀子さ
んにお話を聞きました。

「子供たちに、地元農産物がいつ・どこで・どのようにして作られているのか知ってもらうために、北浦町でとれる新鮮な野菜を給食に使うことになりました。地元産のものは、作っている人の顔も名前もわかります。作った人が給食センターまで運んできてくれるのです。給食を通して、郷土のすばらしさを再発見するきっかけになればよいと考えています。」

子供たち
から一言。



武田小学校の五年生三人に九月五日の給食について聞きました。六笠千愛さん(写真右)「農薬を使ってないってことは安心。作った人がわかるのいい！」河野愛美さん(中央)



↑ 武田小学校一年生の楽しい給食風景

この取り組みは始まったばかりです。北浦町では、約六十品目の野菜を作っており、これからいろいろな野菜が学校給食に提供されます。野菜の生産者・給食調理員・食する子供たち・その親：すべての立場でこの取り組みに注目することが、「北浦野菜」の活性化、そして現代の「食」を見直すことにつながると考えます。

「地元産ってというのがいいな。青梗菜はシャリシャリしてた！」森坂美咲さん(左)「こういう給食は嬉しい。私たちも四年生の時に野菜を作ったけど、農薬を使わないで作るのは難しいです。」…他の子供たちの話も聞いたところ、おしなべてこの給食は好評でした。

生産者 齋藤 守さん(行戸)

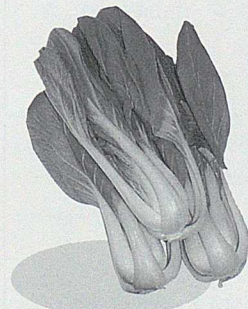
「みそラーメン」の具材となった青梗菜を提供してくれたのは、齋藤さん。作業場におじゃましたところ、奥さんと青梗菜の包装作業をしていました。「農業離れしている子供たちに北浦産野菜の素晴らしさを知ってほしい。やはり、まかなえるものは地場でまかなっていかないと。見知らぬ土地のものより、安心感があるのでは？」とのこと。また、「この青梗菜、何になるのかなあ？」との質問に、「みそラーメンですよ。」と答えると、嬉しそうにニコニコしていました。

今回は、子供たちが学校で「お昼ごはん」として食べている給食について、新しい給食センター施設の稼働と、北浦産野菜を学校給食へ提供するという取り組みをご紹介します。

● みず菜
みず菜は別名「京菜」といわれる京野菜です。本来、漬物や大阪の冬の味覚「はりはり鍋(鯨肉との鍋物)」の

給食になる野菜
とその生産者

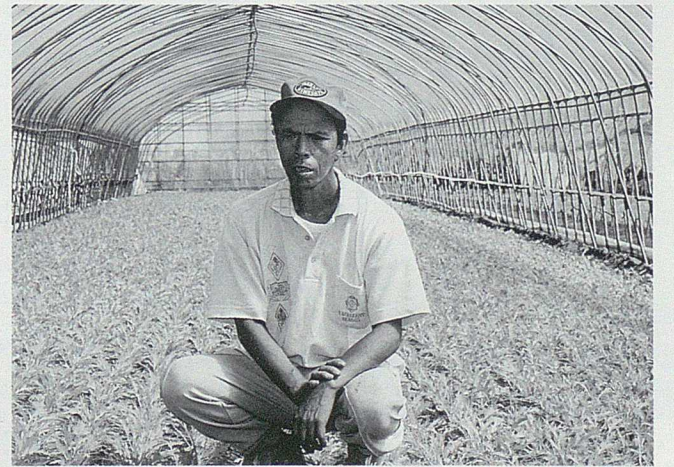
「子供たちにはコンビニ弁当ばかりでなく、地元の野菜を食べてもらいたいですね。今、農薬の問題があるが、うちのみず菜は農薬をほとんど使っていないから安心ですよ。」とにこやかに話してくれました。



生産者 清宮 正彦さん(小貴)
今回の献立、「みず菜のナムル」の食材を提供してくれた、清宮さんにお話をうかがいました。清宮さんは、過去に学校給食へメロンを提供してくれたことがあります。

もともとは、横浜中華街の中国人が食材の必要に迫られ、近郊農家に栽培させたのが始まりとのこと。中国野菜の中でもよく知られ人気もあり、炒め物・炒め煮・蒸し物など幅広く使われています。北浦町が全国一の生産量をほこる野菜でもあります。

● 青梗菜
ちんげんさい



北浦産野菜を学校給食へ



↑ これが「新しい給食」第1号です。(みず菜のナムルと青梗菜が入ったみそラーメン)

「新しい給食」が生産者といっしょにスタート——
つくく北浦にいい野菜があるのだから、子供たちに食べてもらいたい！—この一言に対し、鉦頭会議が中心となつて各作物の研究会に働きかけ、提供農家が決定しました。そして、二期が始まり、新しい給食センターが今年九月に稼働し、「新しい給食」第1号であるこの献立が完成しました。今回(九月五日)の献立は「みず菜」と「青梗菜」を使った献立ですが、今後レンコン・セリ・大葉・サツマイモが提供される予定です。

食材として用いられてきましたが、最近では若採りのものをサラダや和え物にすることで、年齢層を問わず人気のある野菜です。

献立



平成14年10月1日

からここが変わります!

老人保健で医療を受ける方の対象年齢が 70歳以上から75歳以上に

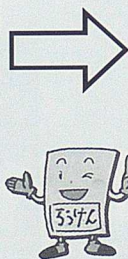


老人保健で医療を受ける方の対象年齢が、70歳以上から75歳以上（一定の障害のある方は65歳以上）に変わります。5年間で段階的に引き上げていきます。ただし、平成14年9月30日までに70歳の誕生日を迎え、すでに老人保健で医療を受けている方（昭和7年9月30日以前に生まれた方）は75歳未満であっても引き続き老人保健で医療を受けます。

老人保健制度の一部負担金が1割に また自己負担限度額が変わります

老人保健でお医者さんにかかったときに支払う費用（一部負担金）は、外来（在宅医療を含む）、入院ともかかった費用の1割になります（一定以上所得者は2割を負担します）。また、医療費が高額になったときの自己負担限度額も変わります。従来の外来の月額上限額および診療所における定額負担選択制を廃止します。

平成14年9月30日まで
かかった費用の **1割負担**
(1か月に3,200円、大病院では5,300円まで負担)
または定額制の診療所では
1日につき850円（1か月に4回まで）
入院：かかった費用の1割負担（上限額まで）



平成14年10月1日から
かかった費用の **1割負担**
ただし、
一定以上所得者は **2割負担**
(外来の月額上限額及び診療所の定額負担選択制は廃止)

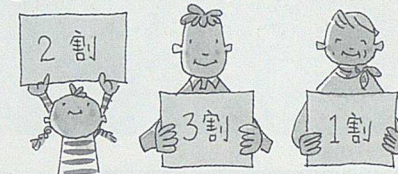
老人保健の医療受給者証(うぐいす色)が新しく交付されます

老人保健で医療を受けるときに病院の窓口で提出する「医療受給者証」が新しくなります。お医者さんの窓口で支払う一部負担（1割または2割）に応じた医療受給者証になります。以前のものは使えませんのでご注意ください。なお、現在老人保健受給者証の交付を受けている対象者には、直接郵送いたします。

お問合せ 町民課保険係 ☎35-2111（内線218・219）

病院の窓口で支払う一部負担金が年齢によって変わります

少子化対策の観点から3歳未満の乳幼児の一部負担金が3割から2割になります。また、70歳以上の高齢者の一部負担金も1割になります（一定以上所得者は2割）。

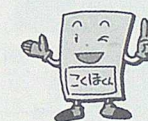
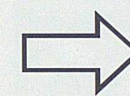


平成14年9月30日まで

一般

(0歳以上70歳未満)

3割負担



平成14年10月1日から

3歳未満の乳幼児	2割負担
3歳以上70歳未満	3割負担
70歳以上	1割負担
(一定以上所得者※は2割負担)	

所得によって自己負担が異なります

自己負担限度額は所得によって異なります。所得が高く負担能力のある方は応分の負担となり、所得が低く、負担能力が低い方には配慮しています。

注1
一定以上
所得者とは

現役世代の平均的収入以上の所得がある方と、その世帯に属する方を指します

年収例

●単独世帯の場合 ●夫婦二人世帯以上の場合

(年金収入のみ)	(年金+給与収入)
450万円以上	637万円以上

75歳未満の人は国保で診療を受けます

70歳以上の人は、これまで老人保健で診療を受けていましたが、10月からは75歳未満の人が、国保で診療を受けることになります。

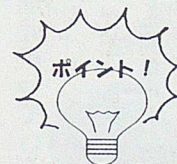
平成14年9月30日まで

70歳未満の人



平成14年10月1日から

75歳未満の人



- 昭和7年9月30日以前に生まれた人
(寝たきりなどの人は65歳以上)
- 昭和7年10月1日以降に生まれた人

引き続き老人保健制度で診療を受けます。

75歳になるまで、国保で診療を受けます。

**70歳以上の人へ
(昭和7年10月1日以降に生まれた人)**

高齢受給者証(空色)が交付されます

市町村から高齢受給者証（「国民健康保険高齢受給者証」）が交付されます。医療機関では、患者の負担割合（1割または2割）をこの高齢受給者証で確認します。高齢受給者証が交付されたら、大切に保管してください。

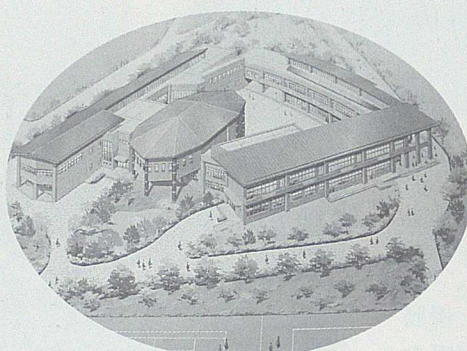


北浦中学校新校舎の工事が始まり、八月二日（金）に改築工事の起工式が行われました。

伊藤町長が鍬入れをし、工事中の安全と校舎の完成を祈願しました。

完成は平成十五年十二月頃を予定しており、平成十六年四月から、新しい校舎で勉強できるようにになります。

完成予想図



中学校改築工事起工式



夏休みも終盤を迎えた八月二十日から四日間にはわたり、「食べ物」の正しい知識・料理をつくる楽しさを親子で体験してもらうため「親子料理教室」が、町保健福祉センターで行われました。参加親子は総勢五十二組。チャレンジしたメニューは、「にんじんとほうれん草のクリームスパゲティ」・「かぼちゃの簡単サラダ」・「トマトと卵のスープ」・「グレープフルーツ寒天」の四品です。試食させていただいたところ、どれも塩分・甘さひかえめの薄味となっており、野菜や果物のおいしさが引き立つてき上がりでした。

お母さんと一緒に切ろうか？



三和地区から鉾田方面へ向かう途中、左手に広がる山の間に突然二つの「巨大キノコ」が現れました。「あれは何だろう？」と、こんな会話がよく聞かれる今日この頃です。

この「キノコ」は、「内閣衛星情報副センター」施設です。平成十三年十一月に、人工衛星の運用・管理・画像解析などを担う中央センター（東京都・市ヶ谷）のバックアップ施設として北浦複合団地内に建設されました。

ちなみに、この施設のきのこの形をした部分は、「レドーム・アンテナ」といいます。

巨大キノコ出現！



皆さんの安全のために！



毎年恒例、九月一日「防災の日」に町消防団（有馬七郎団長）の夏期訓練が行われました。

暑さの中、町第二グラウンドで全十三分団・総勢三百二十名の団員たちが訓練に臨みました。各分団とも今月二十八日の消防操法大会まで、ほぼ毎晩練習をしていくそうです。

消防団は、火事や災害など、不測の事態を想定し、皆さんの安全を守るためこうした訓練を日夜続けています。

これから秋も深まり、空気も乾燥していきます。皆さん、くれぐれも火事には気をつけましょう。



↑ 巫女舞いを披露する河野瑞希さん（左）と小田絵里佳さん（右）

今年も八月二十五日、三和区が当番区で行われ、拝殿では、三和小学校の河野瑞希さん（六年生）、小田絵里佳さん（六年生）の二人が雅楽に合せて、古式ゆかしく舞いを奉納しました。

また、奉納相撲では、各地区の子どもと大人が勝ち抜き戦を行い、小貫区が優勝し、お昼休みには、元関取で現在、「春の場所」勤務の山谷誠さん（表紙写真中央）と子どもたちによる取組みも楽しく行われました。

祭りは、人と人をつなぐ伝統行事。そして、まちづくりの一つの要素です。

内宿にある化蘇沼稻荷神社は、「関取稻荷」の別名があり、古くから豊作祈願の行事として奉納相撲が行われることで有名。この相撲は取り組む力士を田と畑に見立て、勝ったほうの作物（稲作か畑作か）が豊作になるといわれています。天保年間（一八三〇〜一八四四年）に江戸相撲で活躍した当町出身（現在の三和）の秀ノ山雷五郎関（四代目の秀ノ山親方）が奉納相撲をしたことで一段と盛んになりました。



↑ 熱戦を繰り広げる奉納相撲



↓ 日曜日と重なって大盛況でした

化蘇沼稻荷神社夏祭り

↑ 大野区長を先頭に



ルイズ・トンプソンさん(23)
イギリス ニューカッスル出身

8月はじめから、新しいALT
(Assistant Language Teacher)として
遠くイギリスから北浦中学校に赴任された、**ルイズ・トンプソンさん**
をご紹介します。※対訳：高野那穂子先生（北浦中）

My name is Louise Thompson. I am twenty three years old. I come from a city called Newcastle, which is in the North East of England. It is a great pleasure to be the new ALT in Kitaura. I am very much looking forward to the coming year.

I studied English Literature and German at the University of Sunderland. During this time I lived in Germany for one year. In Germany I taught English to students aged 16 to 25. It was a very rewarding experience and I had a lot of fun.

In my free time I like to go swimming. I enjoy listening to music and reading. I also love traveling and hope to see a lot of Japan and Asia during my stay. I am a very sociable person and love spending time with friends.

I am very happy to be in Kitaura. I have met many kind and wonderful people. I look forward to meeting more people in your community. It is my pleasure to be here and I hope that I can bring to you an understanding of my country and its culture. In return I shall do my best to learn Japanese and become acquainted with your wonderful and vibrant country.

私の名前は、ルイズ・トンプソンです。23歳です。イングランドの北東部にあるニューカッスルという都市から来ました。北浦町のALTになることができて本当に嬉しく思っています。これからの生活がとても楽しみです。

私はサンダーランド大学で英文学とドイツ語を勉強していました。そのとき 1 年間、ドイツに住んでいたことがあります。ドイツでは 16 歳~25 歳の学生達に英語を教えていました。それはとてもやりがいのあった経験で、私はとても楽しむことができました。

時間があるときは、よく水泳をします。音楽鑑賞や読書も好きです。また、旅行も大好きで、日本やアジアのいろいろな所に訪れることを楽しみにしています。私は社交的なタイプなので、友達と過ごす時間が好きです。

北浦町に来ることができて、本当にハッピーです。親切で素晴らしい人にたくさん出会うことができました。この地域でもっとたくさんの方にお会いできることを楽しみにしています。皆さんに私の母国とその文化への理解をもたらすことができれば、と思っています。その代わりとして、私は日本語を勉強するのにベストを尽くし、あなた方のすばらしく、そして活気に溢れる国について詳しくなりたいと思っています。



Kitaura has a new
ALT

enjoy sport · enjoy sport · enjoy sport

第26回行方地方子供会对抗球技大会

(キックベースボール)

- ◆ 期 日 8月25日(日)
◆ 場 所 潮来市日の出中学校グラウンド
◆ 結 果 優勝 石神子供会(麻生町)
準優勝 中根子供会(北浦町)

町子供会球技大会（８月４日（日）開催）優勝の中根子供会と、準優勝のあけぼの子供会が町の代表として行方地方大会に参加し、見事、中根子供会が準優勝に輝きました。

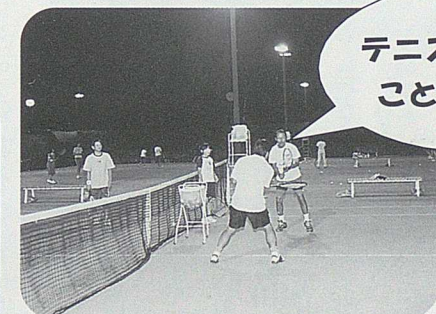


↑ 準優勝の中根子供会チーム

テニス教室&

夏休み期間に、町体育協会主催の「テニス教室」と「バドミントン教室」が行われました。

参加者のなかには、小・中学生をはじめとする子供たちの姿も多く、暑さのなか、親子仲良く汗を流していました。テニス教室の指導者は、鹿嶋市在住の八巻 廣プロと鹿行テニス協会の皆さん。また、バドミントン教室では、北浦バドミントンクラブの皆さんが指導にあたりました。



八巻プロに
よる指導風景



おそろいのシャツで気合い十分！北浦バドミントンクラブ

バドミントン教室開催!!

県立鹿島産業技術 専門学校生募集

高卒者コース
推薦入学試験案内

機械技術科 定員10人
電気工学科 定員10人
木造建築科 定員5人

(いずれの課も期間1年間)

■応募資格 高校卒業見込み者で
学校長の推薦が得られる者

■受付 10月1日(火)～
10月11日(金)

■試験日 10月18日(金)

■その他 入学金・授業料無料
・関係職種資格が取得可能・就職有利

■お問合せ 県立鹿島産業技術専門学院 鹿嶋市林572-1

☎ 0299-69-1170

大好き いばらき 県民 運動「活動奨励団体」 募集!!

～あなたの活動を応援します～

「大好き いばらき 県民会議」では、県内で取り組まれているさまざまなボランティア活動を一層促進していただくため、「活動奨励団体」を募集しています。

■募集期間 平成14年10月21日(月)まで

■奨励団体数 10団体以内

■奨励金 1団体10万円

■お問合せ 大好き いばらき 県民会議 事務局

☎ 029-224-8120

社労士110番

社会保険労務士が「年金・労働保険・社会保険・人事労務管理・助成金」等のあらゆる相談に電話で応じます。※プライバシーは厳守します。

■実施日時 平成14年10月4・11・18・25日すべて(金)

午前10時～午後3時まで

■相談専用電話

☎ 029-241-4404

■お問合せ

茨城県社会保険労務士会

☎ 029-226-3296

大切にしていますか? あなたのからだ。

(財)労災年金福祉協会では、仕事の疲れやストレスからくる過労死や精神障害・労災補償などの相談に応じています。特に、第2月曜日は「仕事と健康を考える日」として全国一斉相談を実施しています。相談は無料で、秘密は厳守されます。

■相談専用電話

(フリーダイヤル)

☎ 0120-603-114

■お問合せ

(財)労災年金福祉協会

茨城労災年金相談室

☎ 029-226-7609

10/1～31は 高齢者雇用促進月間

“働く高齢者を応援しよう”

65歳の現役社会

高齢者が安定した生活をおくれる社会にするためには、高齢者が長年つちかってきた知識・経験等が有効に生かされる職場を確保する必要があります。ハローワーク(公共職業安定所)及び茨城労働局では、定年の引き上げをはじめ、65歳までの継続雇用と就職希望者の再就職促進等を推進しています。ご理解・ご協力をお願いいたします。

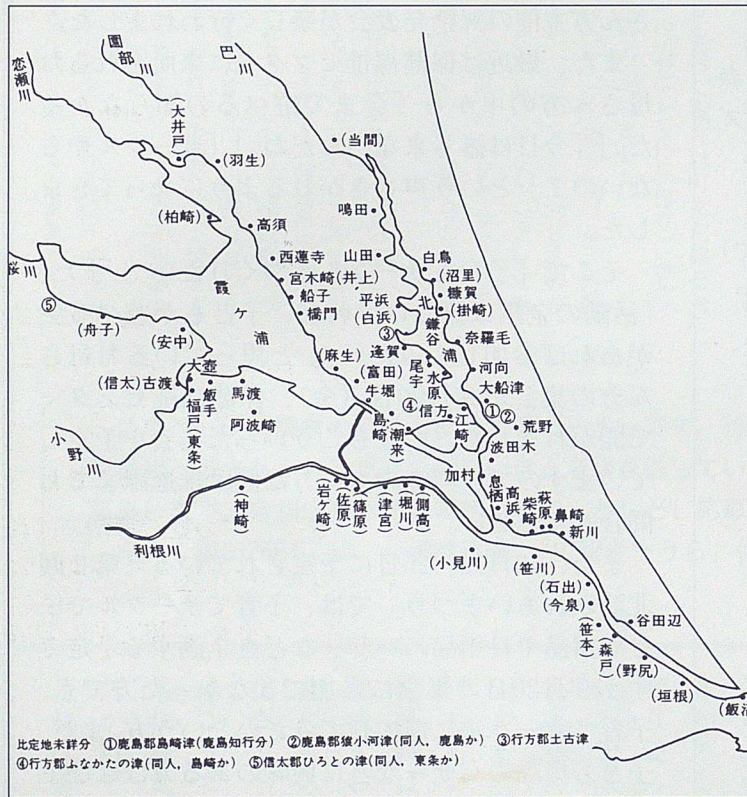
町史編さんだより ⑬

「北浦」の水運と海夫注文



中世北浦地方の歴史を研究する上で、「北浦」の水運を解明することが一つの大きなテーマとなります。「北浦」の水運の担い手はどのような人びとであったのか、どのような物が流通していたのか、公家・武家などの領主層や宗教勢力がどのように流通に係わったのか、東国の水運における「北浦」の果たした役割はどのようなのか等調査・研究の対象は多岐に渡ります。残念ながら、これらのことを知り得る史料は大変少ないのが現状です。これからの史料の発掘には努力していきたいと考えています。このような状況の中で、いわゆる「海夫注文」と呼ばれる貴重な史料が『香取文書』に残ります。

復するための証拠書類として作成されたもので、現在八通残っています。海夫とは現在の北浦・霞ヶ浦から利根川下流域沿岸の津に集住し、漁撈を産業としていた海の民ともいえる人々たちです。海夫は遅くとも平安時代末の応保年間(一一六一～一一六二)には香取神宮に属し、獲れた魚介類などを供祭物料として神宮に貢進し漁撈や交通の特権を与えられていたと思われまふ。応安七年の「海夫注文」には常陸国五十余津と下総国二十四津の分布と知行者名が記されています。北浦町地方では「なるたの津」と「やまたの津」の名が見え、ともに知行者は「たけた」とあります。「なるたの津」は現在の武田川流域の成田に、「やまたの津」は山田川流域の山田にそ



▲ 応安の海夫注文による津の分布(『潮来町史』より転載)

れぞれ比定され、知行者の「たけた」とは室町期から戦国期にかけて北浦町地方で勢力を張っていた武田氏と考えられます。これらの津は河川の河口に位置し、周辺には農業基盤となる小沖積地を伴い、城館や寺院が営まれていました。

さて、ではなぜ知行者がこれらの津や海夫を支配し、また一方で、大中臣長房が神宮領の再編を目指したのでしょうか。それは鎌倉期後半以降、海夫が水上輸送や商業に従事するようになり、津が定期市など商業活動の場に発展し、貨幣経済の進展と相まって津の支配によってもたらされる収益が膨大となったからだと思います。軍事的にも経済的にも水運を支配することは、在地領主や神宮にとって非常に重要な事だったといえます。

(町史編さん専門委員
橋川栄作)

史料調査に
ご協力を!!

問い合わせ先
教育委員会
生涯学習課
町史編さん担当
TEL (0291)35-2907

人も社会も
「ゆとり休暇」で
もっと元気に

「有給休暇で、
すいてる時期に
旅行に行ったら、
すごくエンジョイ
できました」

こんな「ゆとり休暇」の実現は、
個人消費拡大による
景気回復や
地域活性化を
もたらす、
豊かでぐっすり日本を
築く一助となります。

さあ、あなたも
有給休暇を
100%活用して
「ゆとり休暇」を
とりましょう

観光対策関係省庁：内閣府／警察庁／総務省／法務省／外務省／財務省／文部科学省／厚生労働省／農林水産省／経済産業省／国土交通省／環境省
事務局：国土交通省観光振興課 URL: http://www.mlit.go.jp

いしはマイライフ

みんなの 広場

七宝焼きを始めて十七年目、現在は町文化協会所属の「七宝焼き同好会」代表として作品作りに励む、原目さわ子さんにお話をうかがいました。

七宝焼きの醍醐味について、「(焼き上げる) 時間と温度、釉薬の盛り具合で、二つとして同じものができないところですね」と語る原目さん。テレビ出演している女優や女性国会議員のアクセサリーも、大ぶりのものは七宝焼きが多く、作品作りの参考になるそうです。

現在は、町芸術祭出展作品に取り組んでいるとのこと、現在から過去のものまで、いくつかの作品を見せていただきました。「今までで最高の出来！」と嬉しそうに紹介してくださったのは、楕円形のベイスに七色のきらめきが混在する、不思議なブローチ。「十年くらい前かな…何度も失敗して、焼き直すとヤスリかけをくりかえしたの。こんな不思議な色はもう二度と出せないですね。」

元氣なうちは、ずっと七宝焼き作りを続けていきたいとおっしゃる原目さん。これからも素敵な作品を作り続けてください。



● 原目 さわ子さん (山田)
74歳 (S 3. 7. 21生まれ)

このページは読者の皆さんがつくるコーナーです。俳句・短歌・イラスト・写真などの投稿や、若さあふれる男女、いきいきと老後を送っているおじいちゃん、おばあちゃんを募集します。自薦他薦は問いませんので、どしどし応募して下さい。

宛先：山田2564-10 北浦町役場 「広報きたうら」係まで TEL35-2111(内線202)

きたうら文芸

俳句

北浦俳句会

(久保博光選)

大汗に不老長寿の水旨し
いつまでや農に活きたる汗拭う
より強き球児の来たる汗の顔
汗臭き飯場の飯のてんこもり
万歩計一万二万汗を拭く
湯浴して汗の一日農日記
駅までの時間ぎりぎり玉の汗
汗のものを脱いでしばらく真人間
幕列のしんがりにつき汗を拭く
刈り込みの切れに鉄に汗にじむ
汗の玉流してつくる夕餉かな
無農薬野菜育ちて汗光る
汗かいて耳の奥から遠太鼓
汗ぬぐい駆け寄って見る乳母車
汗拭けば夢殿開き午睡する
土俵ざわ汗と喚声からみ合う
目にしみる額の汗や竹箒
試合了へ汗の顔して旁へり
インタビュ笑顔のキラと汗光る
農に精出しきっている玉の汗
汗かけどうにもならぬこの世かな
花柄に着替えし野良着玉の汗

坂本トク
和田幸子
井川幸江
松本玉代
高野郁代
野村す系
金井クニエ
根本かほる
高野三千春
比嘉雅子
東野サカエ
額賀英子
羽生まき
日下利子
寺内泰夫
藤原静子
寺内里枝
石上ちかこ
関川ひで
関島秀子
飯島やす子
千ヶ崎さく子
本戸さく子

新着図書(8/1~8/31)

■一般図書 57冊

*茨城の天然記念物—緑の憩いをたずねて(山崎睦男) *からだの自然治癒力をひきだす「緑の医学」(林 真一郎) *ことばに生かされて—相田みつを・人生の応援歌(今井久喜/編著・相田 一人/監修) *十津川警部影を追う(西村京太郎) *似合う色がわかる本(桶村久美子) *不撓不屈(高杉 良) *虫姫—御書物同心日記(出久根達郎) ほか

■児童図書 21冊

*黄色いポストの郵便配達(斉藤 洋/作・森田みちよ/絵) *ケルトとローマの息子(ローズマリー・サトクリフ/作・灰島かり/訳) ほか

■絵 本 13冊

*ヒロシマに原爆がおとされたとき(大道あや) *ライオンのへんないちにち(あべ弘士) ほか

話題の新作



ふとうふくつ
不屈不撓

高杉 良/新潮社

●編・集・後・記●

厳しい夏も過ぎ、秋を迎えましたが、秋と言えば、「食欲の秋」。今回の取材で、何十年ぶりに給食を試食しました。なんと、みそラーメンが出てきて、これまで、麺と言えばソフトメンでしたのでビックリ！(歳がわかってしまう。)

2学期から、地場産物を給食に使うことになり、子どもたちに郷土の素晴らしさを再発見してほしいものです。(K)

はつらつ保健だより

子育てサークル活動に 参加しませんか

今年6月から、保健福祉センターのロビーやふれあいホールを子どもの遊びの場・交流の場として開放し、自由に使っていていただいております。去る9月2日には、ホールのステージを使ってお母さん方主催の舞踏発表会が楽しく行われました。

また、最近では保健福祉センターに来所されるお母さん方の中から「今まで遊べるの知らなかった。」「今日は誰も来ないんだね。」「サークルやらないの?」という声もきかれるようになってきました。

そこで「子育てサークルをつくりたい。」また、「活動の企画は難しいけれど、子どもが遊べる会があれば参加してみたい。」と思っているお母さん方の集会在9月20日(金)、保健福祉センターで開かれました。今後もこういった集会を予定していますので、興味のある方は健康推進課までお問合せください。

また、10月19・20日に予定されている「第2回北浦ふれあいまつり」では、子育てサークルで子ども用品や日用品のバザーなどを企画する予定です。9月20日の集会に参加できなかった方でも、子育てサークルに参加してみたいという方、また、子ども用品のバザーなどに興味のある方はぜひ下記までご連絡ください。

お問合せ

北浦町健康推進課 (保健福祉センター内)

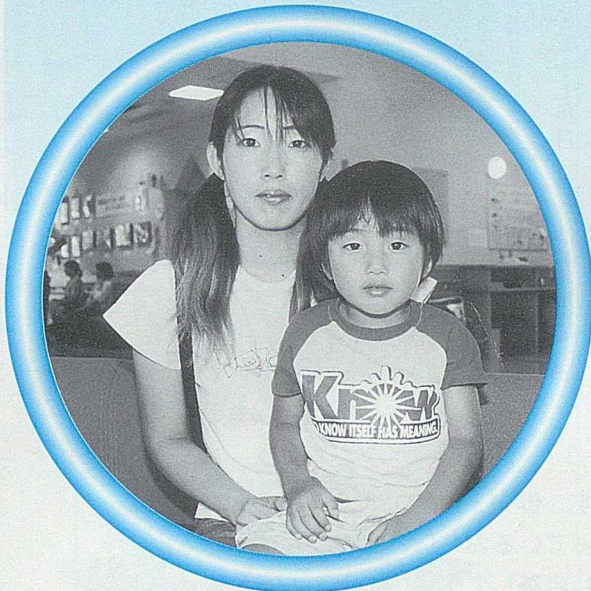
電話 34-6200



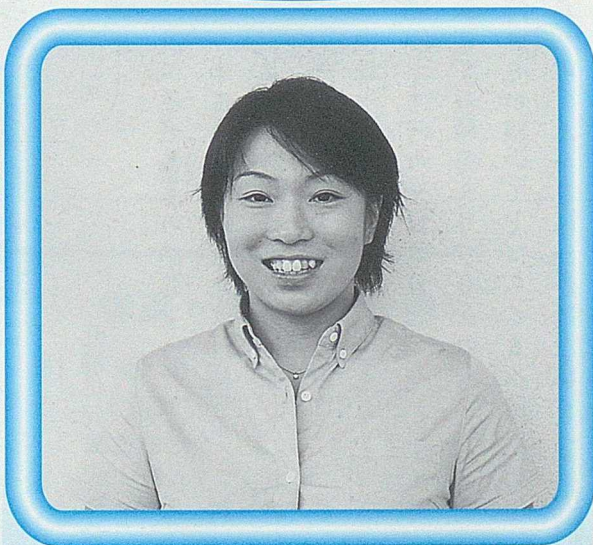
●高柳 諒 くん (H11.4.5生まれ)

長野江の潤さん・広美さんのお子さん

手足をまっ黒に日焼けして、元気いっぱいの諒くん。最近は自転車に乗って遊ぶのがお気に入りです。また、力が強くなってきたそうで、ふざけっこをすると、お母さんが痛い思いをすることもあるそう?! お母さんの広美さんは、諒くんの将来について「健康で、本人の好きな道に進んでもらえれば…」と話してくださいました。



しん せん びと
新鮮人 Fresh person



●風 間 久 乃 さん 25歳
やぎ座・B型 (大洋村在住)
北浦中学校勤務 (保健体育講師)



●河野 雄 紀 くん (H13.1.28生まれ)

三和の修さん・裕美さんのお子さん

1歳6ヶ月健診におじゃましたところ、おもちゃの自動車に乗って遊んでいた雄紀くん。お家でも、三輪車やおじいちゃんの運転する軽トラックに乗ったりと、乗り物が大好きとのこと。最近はお母さんの脇で、洗濯物を手渡すお手伝いを覚えたそうです。お母さんの裕美さんは、「人並みでいいから、健康に、自由に育ってほしいですね。」と話してくださいました。

●趣味は?

ジョギング・ウクレレ・映画鑑賞。

●自分はどんな人?

おつちよこちよいなところがあります
が、「やる時はやる!」性格です。

●好きなタイプは?

自分や友達、家族を大切にする人、
そしていざという時に頼りになる人:です
ね。

●町について

自然が豊かで、住んでいる人たちが
とても温かいです。